

大川小学校

先週の金曜日と土曜日、全国の私立小学校の研修会があり、私も参加しました。

今年は、宮城県の仙台という場所で行いました。その研修会では、宮城県の石巻市にある大川小学校を見学したのです。大川小学校は、海の近くにある学校で、その海に注いでいる北上川の近くでもあります。自然豊かで、静かで景色がとても良い場所にあります。

今から 14 年前の 3 月 11 日、宮城県のある東北地方は大きな地震に襲われました。東日本大震災です。震度 7 という大きな地震で、この大川小学校は地震発生から約 1 時間後の 15 時 37 分、津波に襲われたのです。一瞬にして、このような学校が、このような姿になってしまったのです。

石巻市震災遺構大川小学校の姿を写真で提示

その津波によって子どもたち 70 名、教職員 10 名が犠牲になりました。その他に 4 名の子どもは、今も行方不明となっていてご両親が必死になって 14 年たった今も必死になって探しているそうです。

大川小学校を襲った津波は 8.6m。これは、校舎の 2 階部分の高さになるそうです。海から川を伝わってきた津波が大川小学校を襲いました。津波は何度も何度も襲ってきます。一度過ぎ去った津波が川の上流から戻ってきます。海からの津波と、戻ってきた津波があわさって円を描きました。さらに、流れてきた木や車、家などが渦の中に混じっているのです。

そんな話をしてくださったのは、自分の子どもが大川小学校に通っていた A さんでした。A さんの 6 年生だったお子さんもこの津波で亡くなられたのです。「この場で 1 年生から順に並んでいました。」「この先で 30 人以上のお子さんが見つかりました。」涙ながらに語る A さんの気持ちを考えると、私たちも自然と涙が流れてきました。

日本は、災害が多い国です。だから、災害に遭いそうになった時にどうすればいいか、訓練をしているのです。A さんや A さんのお子さんのことを考えながら、もう一度防災のことを考えたいと思います。